



表郷中学校だより

令和3年 5月25日(火)

ポ フ ラ

第14号 発行者・文責 校長 菊池 篤志

県南中体連総合大会 ～無観客での実施決定！～

昨日、県南地区中学校体育連盟会長荒井孝祐氏より、「**新型コロナウイルス感染拡大防止対策について（お願い）**」という文書届き、保護者の皆様に配付させていただきました。その中に、**大会を無観客とする**という内容があり、皆様も御確認されたと思います。残念ながら、現在の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえると、致し方ない措置であると考えます。昨年度のように中止という選択肢がある中、大会を開催する方向に進んだことは良かったと考えます。先日の陸上競技大会も無観客で実施しました。この状況下で、参加する皆さんの安全を可能な限り確保するという方針のため、このような措置になりましたこと、御理解をいただければと存じます。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちの最大の大会を楽しみに待っていたのではないかと思います。誠に申し訳ありませんが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

清掃の状況 ～写真より～

前号で、清掃の写真を掲載できませんでしたので、今回掲載することとしました。しっかり取り組んでいる様子を御覧ください。



← 整列状況も無言で素晴らしいです

各清掃場所での
無言清掃



新聞に、生徒作文掲載！

福島民報新聞の「みんなのひろば」に、本校の2名の生徒の作文が掲載されました。新聞記事などのニュースに関心をもち、常に社会全体のことを考えていることが何よりも素晴らしいことです。

下は、2名の作文です。すでに新聞でお読みになった方もいらっしゃるかと思いますが、改めて掲載しますので、御覧ください。

環境保全進め生態系を守ろう

蛭田穂果（2年）

福島民報で「説明付かない不漁 長期化懸念広がる」という記事を読みました。サンマなどの漁獲量が減って、地元の天然の魚を食べられなくなってしまふのかと、寂しくなりました。

どうして捕れなくなったのか、気になりました。記事には「温暖化の影響」「海洋の環境変動」という言葉が出てきます。つまり、私たち人間が自然を破壊し続けた結果、そのつけが回ってきたのかもしれない。複雑な気持ちになりました。

取りあえず、天然資源に依存せず、養殖に力を入れていくことになるのでしようが、それでは地球環境は守れません。

一度失われた生態系が元に戻るには気が遠くなるほどの長い年月を要します。地球の未来のために、もっと環境保全を意識していかなければならないと思いました。

小中高校生の自殺急増に驚き

小林篤史（3年）

福島民報の「コロナ禍 子どもの自殺急増」という記事を読んだ。小中高校生の自殺が昨年は5月以降にペースが加速し、過去最多の499人に上ったというデータに驚いた。

自殺の理由はコロナによる長期休校、外出自粛で進路や家族との不和に悩む人が増えたことや、新学期に新しい人間関係を築かなければならないことのストレスなどが挙げられている。

人間関係が広がる時期のストレスや、家族という時間が増えたことでかえって自殺が増えるとは皮肉だ。一緒にいる時間が長くなれば衝突することも多いだろうが、よりわかり合えるチャンスでもあると思う。

環境が変わって、自分のことで精いっぱいになりがちなただが、もしかしたら周りに暗い気持ちの人がいるかもしれないし、自分も何がきっかけでそうになっていくかも分からない。変化に気付き、話を聞き、励まし合っていけたらいいと思う。